



さくらちょうしょう

桜町小だより

「緑と笑顔がいっぱい桜町小」

児童数 336名 令和6年10月1日(火)



「20年間に感謝」

校長 小川 哲

猛暑が続いていた日々からは想像できないくらい一気に涼しくなりました。そんな中、運動会に向けて練習、取組が始まり、元気な運動会の歌が、応援団の声、仲間と声をかけ合いながらがんばる子供たちの姿が桜町小をにぎわせています。

桜町小は保護者・地域の皆様に見守っていただき、安全な登下校ができています。子供たちに、通る地域の方に、「おはよう」「さようなら」の声をかけてくださっています。そして、「今日はみんな早いな」「今日は元気がないな」という声もかけてくださりました。こういったちょっとしたコミュニケーションで育まれたり、刺激を受けたりする子供たちの力や感性が確かにありました。毎日毎日感謝の気持ちでいっぱいです。約20年間にわたって登下校を見守ってくださってきたのですが、この度見守りの箇所を一部縮小することになりました。担ってくださってきた方々の健康のことがありますので、残念ですが、これまで守ってきてくださってきた子供たちの安心・安全な登下校を引き継いでいきます。方法については、現在PTA執行部の方と協議しているところです。約20年間毎日ですから、年間登校日を200日として約4000日立哨に尽力いただいたこととなります。この中には、暑い日も寒い日も、雨の日も風の強い日も雪の日も、荒天等で時間変更の日もありました。登校時刻は全学年同じですが、下校時刻は学年によって幅があります。それにも対応して、ご自身の時間を割いてくださりました。校外学習の時は大型バスの安全な運行にご協力もいただきました。感謝の気持ちはとても言葉だけで表せませんが、先日、全校の子供たちからのメッセージとPTAの方々からのプレゼントを、児童会長さんとPTA会長さんからの感謝の言葉と共にお渡ししました。地域に愛されている子供たちが通う学校として、子供たちが安心・安全に通える学校をこれからも継続してまいります。保護者・地域の皆様、引き続きよろしくお願ひいたします。



「令和6年度全国学力・学習状況調査、県学力・学習状況調査から」

- ・算数において、学力を伸ばした児童の割合が高く、平均正答率も概ね県平均を上回っている
 - ・国語において、学力を伸ばした児童の割合が算数に比べると低く、平均正答率も県平均を下回っているところがある
 - ・記述式の無回答率が低い
 - ・ゲーム、動画視聴に関する質問紙において、4時間以上利用とする回答が全国比で約2倍多い
- 昨年度から取り組んできた算数専科と担任、学年が連携した指導体制、学習活動の充実の成果が出た結果となりました。一方で、国語については課題が見られましたので、言語活動の中心となる教科であることから、国語の授業を核としながら各教科等で言語活動の充実を図り、主体的、対話的な授業実践を積み重ね、確かな学力を身に付けていきたいと考えております。

朝から眠そうにしている子がちらほらいます。運動会の練習も始まっていますので、睡眠も含めた生活のリズムを整えることと健康観察をお願いします！